

**ついにワークステイ事業
をきっかけに二地域居住者誕生！！**



**南会津ふるさと
ワークステイ通信**

【第3号 発行】

平成29年1月30日
福島県南会津農林事務所

今年度で**5年目**を迎えた「南会津ふるさとワークステイ事業」は、昨年11月30日をもって、今年度の参加募集を終了しました。

受入農家の皆様、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

県内外から**5名**が参加し、受入農家指導の下、トマト・リンゴ・花きの収穫・梱包作業などを体験！

参加者からは、「緊張感と責任感が味わえて貴重な体験になった」「本気で農業に、少なからず向き合えたことが自分自身の大きな収穫となった」など、よろこびの声を多数いただきました。

また、当事業に26年度1回、27年度2回、参加された千葉県在住の50代のご夫婦（会社員）が、平成28年5月に只見町内の古民家を購入され、同時期から二地域居住を開始されました。お話を伺ったところ、2年後位には定住予定とのことで、「ワークステイ事業が定住・二地域居住を決断する大きなきっかけとなり、親戚（受入農家さん）が増えた」とのことでした。「南会津ふるさとワークステイ事業」の目的が達成された第1号となります。

【参加者】 ※ 南会津町（3名）、下郷町（2名）

	性別	年齢	職業	住所	滞在	受入農家		作業内容
1	男	44	会社員	埼玉県	H28.7.30-7.31	1泊2日	南会津町 月田禮次郎	花き収穫
2	男	73	無職	千葉県	H28.9.14-9.18	4泊5日	南会津町 佐藤政和	花き収穫
3	男	55	会社員	いわき市	H28.9.15-9.17	2泊3日	南会津町 馬場徹	トマト収穫・栽培管理
4	男	55	会社員	東京都	H28.10.27-10.28	1泊2日	下郷町 星由夫	水稲・リンゴ関連作業
5	女	59	無職	静岡県	H28.11.12	日帰り	下郷町 星由夫	リンゴ関連作業

1 事業の紹介

当事業は、南会津地方の農林家等に宿泊しながら、受入農家の方と一緒にいる農作業等を通して、田舎暮らしから新規就農を見据えた本格的な農作業まで体験できる、「お試し」的な新規就農支援事業です。

日程や希望する農作業等の内容など、受入に関する調整事務は、当事務所企画部が窓口となって行います。

なお、ワークステイ期間中の参加者の費用負担は、基本的にありません。



(1) 平成28年度受入募集期間

平成28年4月1日(金曜日)～平成28年11月30日(水曜日)

(2) コース

※H28実績 チャレンジコース(2名)、猫の手コース(3名)

チャレンジコース	本格的な就農も視野に入れた実践コース!	猫の手コース	初心者の方も安心! はじめての農業コース!
	<p>☆「就農を考えており、農作業をトコトンやってみたい方」「類似事業の参加経験豊富な方」はオススメです。</p>		<p>☆「土いじりをするのは初めて」「農作業や田舎暮らしを体験してみたい」という方はオススメです。</p>

(3) これまでの参加人数

(人)

	H24	H25	H26	H27	H28
参加者数	12	8	17	10	5
受入農家	6	5	16	14	11

2 参加者アンケート結果

(1) 本事業を知ったきっかけは何ですか? (複数回答)

内容	人数	備考
ホームページ	4	福島県南会津ふるさとワークステイ事業、福島県
新聞・雑誌	1	田舎暮らしの本
友人・知人からの紹介		
その他	1	南会津農林事務所からの通知 田舎暮らしセミナー(南会津地方振興局主催)

(2) 参加を決めた理由は？ (複数回答)

内容	人数
居住地に近い	
体験内容に関心があった	3
福島県に関心があった	1
南会津地方に関心があった	2
移住を検討している	2
食費・宿泊費を抑えられる	1
農業について学ぶため	3
その他	



(3) 農作業の感想

理由・感想

- ・ 品種により適した採花のタイミングを教わることができ、勉強になった。
- ・ 出荷梱包作業で、短時間で出荷しなければならない緊張感と責任感が味わえて貴重な経験になった。
- ・ 最も忙しい時期に応援出来てとても良かった。
- ・ 生花の収穫から出荷までの工程が解かり、生産者の苦労も十分解った。
- ・ トマトの芽かきや収穫の手伝いが実際に体験できてよかった。
- ・ 毎日の作業や収穫が天候に左右される農業の大変さを垣間見ることができた。
- ・ 1泊2日という短い時間でしたが、中身の濃い体験だった。
- ・ 実際に農家さんの作業所に伺うことで選別作業の大変さや、サイズ別に美しく箱詰めする苦労を体験することができた。
- ・ 知らない品種のリンゴや、品種別にリンゴの味比べをさせてもらえてよかった。

(4) ワークステイを体験して、どのように感じましたか？ (複数回答)

内容	人数
田舎暮らしをもっと体験したい	1
移住・就農を考えようと思った	1
都市と農村の交流を続けたい	2
南会津地方の魅力を感じた	4
農業についてより一層興味が湧いた	2
移住・就農は考えていない	

(5) 感想等

- ・ 本気で農業に、少なからず向き合えたことが自分自身に大きな収穫となった。
- ・ できれば可能な限り年間を通じた農作業の体験を継続的にやりたい。
- ・ 雨の中外での作業は大変で、午後は部屋の中で座りっぱなしで腰・膝が痛くなったが充実した日々を送ることができた。
- ・ トマトのもぎ取り洩れがないように心がけてもうまくできなかった。
- ・ 次年度以降も、毎年1回は南会津での農業体験を継続していきたい。
- ・ トマトや土、微生物について自分なりに少しずつ勉強していきたい。
- ・ できることならもう少し長く農業体験できたらと思う。
- ・ 農家と参加者双方にもっと有意義なプランやカリキュラムが組まれたツアーのような企画があれば、ぜひ参加したい。
- ・ 金子牧場のヨーグルトが生まれるところを見てみたい。
- ・ クラインガルテンが現在どのように活用されているのか興味がある。
- ・ 他の参加者たちとの交流の場などがあると良いと思う。

3 PR活動

参加者を広く募集するため、「新・農業人フェア」への参加やホームページ等でのPRを行いました。

特に「新・農業人フェア」では、平成28年9月(東京会場)と平成29年1月(仙台会場)の2回、只見町と連携して、合同で新規就農や定住・二地域居住の相談を行ったほか、1ターン就農者の高木さん(只見町)から貴重な体験談をお話いただきました。

この後も、平成29年2月18日(東京会場)に出展し、積極的なPRを行っています。



【農業人フェアへの参加】



【新PRパンフレット】

4 農家民泊開設に関心がある方へ

他県などからの小・中学生等を受け入れて、農村生活を体験してもらう「農家民泊」を県内でも特に南会津地域では積極的に取り組んでおります。

詳しい内容については、当所企画部までお気軽にお問い合わせください。

受入農家交流会開催します!

今年度のワークステイ事業及び次年度事業構築に向けて、受入農家皆様のご意見を頂戴するため、平成29年2月下旬頃に受入農家交流会を開催する予定です。

是非、ご参加願います!

※交流会の開催日等は後日お知らせします。



担当者から

～編集後記～



受入農家の皆様、参加者との交流はいかがでしたか?

今年度の受入はこれまでより少ない結果となってしまいましたが、二地域居住の方ができたことはとっても嬉しいです。

今後も、南会津地方に定住・二地域居住の方が増えてくれるよう頑張りますので、来年度も継続して事業へのご協力をお願い申し上げます。

今シーズンは、例年以上の大雪のようで、連日除雪作業で大変かと思いますが、くれぐれもご自愛下さい。(相原)

お問い合わせ先はこちら
福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256